



〈表紙作品〉  
 平成25年度 芸術学部デザイン工芸学科 卒業  
 出原 望美  
 「飾曆72候」  
 (147×208×20mm、装丁サイズ:糊箱160×230×50mm)  
 平成25年度 卒業制作  
 卒業制作優秀作品、芸術資料館買上作品

## 広島市立大学で何が学べるの? ユニークな研究紹介!!

広島市立大学では、「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という建学の基本理念のもと、さまざまな教育・研究を行っています。ここでは、読者の皆さんに、本学で何が学べるのかを知ってもらうために、インターネット上のサイト「夢ナビ」(<http://yumenavi.info>)に掲載されている本学教員による「ミニ講義」(夢ナビ講義)のタイトルを一覧で紹介いたします。また、教員からのメッセージも併せて掲載しています。「ミニ講義」では、専門分野の研究について、ユニークなイラストとともに、わかりやすく説明されています。詳しくは、「夢ナビ」をご覧ください。

### 国際学部

NPO法人やボランティア活動が抱えている課題とは?



- 東日本大震災の復興支援などで、NPO法人やボランティアの活躍が目されるようになりました。世間の期待が高くなり、社会の役に立ちたいという若者も増えていますが、その一方にある課題について考えます。

国際学部 准教授 金谷 信子

政府、企業に次ぐ「第3のセクター」、非営利組織って何?



- NPO法人やボランティアだけじゃない非営利組織
- 民間でありながら公益活動を行い、利益配分しない
- 社会を変えていく「スパイス」として

国際学部 准教授 金谷 信子

核兵器はなぜなくなるのか



- 冷戦後も生き延びる核兵器
- 核兵器は世界平和のために必要?
- 核兵器の廃絶は可能か?

国際学部 准教授 西田 竜也

戦争のない世界をつくれるだろうか



- なぜ戦争や紛争は起こるのか
- 貿易は戦争を防ぐことができるか
- 民主主義は平和を創造できるか?

国際学部 准教授 西田 竜也

グローバル化の中で叫ばれる「多文化共生」とは?



- 外国人を地域のコミュニティに迎え入れるには
- 文化や宗教のぶつかり合いは政治的要素が大きい
- 外国人に対する偏見や固定観念をとらえ直す

国際学部 准教授 田川 玄

教員からのメッセージ

国際学部の特徴は「複数の視点」からの学びです。「複数の視点」とは何でしょうか。ひとつには、政治・経済・言語・文化・社会までの多様な学問領域から世界を学ぶということです。そして、もうひとつは複数の異なる世界に住む人びと、すなわち、アフリカ・ラテンアメリカ・アラブ・欧米そしてアジア・日本といった地域に住む多様な人びとの目から世界を見ていくこと、そのようないくつもの視線が重なり合って世界が成り立っていることを学ぶことです。このために、これらの地域の名前を冠した授業が用意されています。複数のものの見方の中にこそ無限の可能性ががあります。たくさんの世界の可能性をともに切り開いていきましょう。



日本企業の海外進出の歴史とその課題



- 繊維産業や家電メーカーがアジアで生産
- 自動車貿易摩擦で、消費地での生産へ
- 世界中がマーケットになり、企業間の競争も激化

国際学部 教授 大東和 武司

単なる利益追求だけでない多国籍企業のグローバル展開



- ODAの限界と多国籍企業の企業活動の評価
- 企業の市民意識を高めるグローバル・コンパクト
- 高まる、企業の社会的貢献への期待

国際学部 教授 大東和 武司

20世紀アメリカの最もトランスナショナルな詩人、エズラ・パウンド



- アメリカ・アイダホ州で生まれヨーロッパへ
- 詩を絵画のように描くイマジズムを提唱
- 多くのアメリカ詩人を世に出したことで有名な

国際学部 准教授 コーマン、マイケル

田舎の生活を描いた映画を通してアメリカ文化を学ぶ



- アメリカは田舎町の集まった国?
- 映画が描く1950年代のアメリカ
- 冷戦時代のアメリカ人の価値観について学ぶ

国際学部 准教授 コーマン、マイケル

### 情報科学部

耳につけるウェアラブルコンピュータで情報を受発信



- 距離センサーを利用して、耳をスイッチに使う
- 人間の集中力を邪魔しない耳からの情報
- いろいろなセンサーを追加し、機能を広げる

情報科学部 システム工学科 講師 谷口 和弘

患者の負担を軽減する「内視鏡ロボット」の開発



- 体に1カ所穴を開けるだけで手術を行う
- 内視鏡カメラが手術を邪魔しないために
- カメラの先端を工夫し、モーターを組み込む

情報科学部 システム工学科 講師 谷口 和弘

エラーを許して、バランスの取れた製品を設計する



- LSIには許せる障害と許せない障害がある
- あえて、最初から「壊れたLSI」を作る!?
- 一部の機能強化ではなく全体のバランスを考える

情報科学部 情報工学科 准教授 市原 英行

書き換え可能なLSI(集積回路)で障害に強いシステムを作る



- 増えている製造後に設計変更できるLSI
- 障害から自分で復帰できる機能を組み込む
- LSIの一部が壊れても使い続けられる

情報科学部 情報工学科 准教授 市原 英行

音の研究を通じて生活を便利・快適にする「音響システム工学」とは?



- 生活に深く関わる音について幅広く研究
- 騒音を減らしたり、音を創り出したり
- 音に対する文化や心理面での快適性も重要

情報科学部 システム工学科 教授 石光 俊介

教員からのメッセージ

サウンドデザイン研究室では、音楽から自動車の音まであらゆる音のデザインについての研究を行っています。ジブリ映画のサウンドデザイナー、スピーカーのオーディオエンジニア、自動車のエンジン開発技術者、産総研の研究者など…さまざまなプロフェッショナルと交流しながら、世の中で求められていることを拾い集めて、システム工学のコア技術である信号処理、解析、制御の力を使って、社会に貢献していくのです。講義は音響システム工学と人間工学を担当しています。サウンドデザインは、音楽を楽しむことはもちろん、自動車、福祉・医療まであらゆる分野に切り込んでいける技術です。一緒にその可能性を追求してみませんか?



進化を続けるデジカメの未来はこうなる!



- フィルムもデジカメも撮影した瞬間に映像が決まる
- 撮影後でもピント合わせや視点の変更が可能に
- 機械やロボットなどの「目」としても期待

情報科学部 知能工学科 教授 日浦 慎作

教員からのメッセージ

現実にはありえないシーンをリアルに描く映画の中のコンピュータグラフィックス。デジカメや携帯電話で撮影する日常の写真。危険を察知するとかわりにブレーキを掛けてくれる自動車。それらを支えているのが最新の映像情報技術です。今やコンピュータは娯楽や芸術の発展を支え、私たちの生活を安全で豊かにするためになくてはならないものになっています。情報科学部では豊富な講義で映像をつくりだしたり認識したりする技術について広く学ぶことができますし、最先端の研究成果はカメラや自動車など日本が誇る企業の技術者が参考にするほどです。皆さんもぜひ、広島市立大学で「これからの情報技術」を学びましょう!



モーション(動き)は、感情を伝えるための第5のメディア



- モーションメディアとは実体としての動き
- 同じ演奏ならDVDよりライブのほうが感動する
- ロボットでモーションメディアのコンテンツを作る

情報科学部 システム工学科 教授 岩城 敏

人と一緒にジャムセッションしてくれるロボット



- ジャムセッションでドラマーがいらない、どうする?
- 演奏音を入力してロボットの動きに変換する
- モーションメディアがロボット普及のきっかけに

情報科学部 システム工学科 教授 岩城 敏

求められる情報通信ネットワークの高速化と高信頼化



- インターネットを支えるバックボーン
- 情報通信ネットワークは私たちの世界そのもの
- 自然界の物理現象をシステム設計に応用

情報科学部 情報工学科 准教授 高野 知佐

災害にも強いモバイル通信ネットワークをつくる



- 生活に不可欠なものとなったモバイル端末
- 社会のインフラとしての高信頼性が課題
- 各人の携帯電話をつないでネットワークを構成

情報科学部 情報工学科 准教授 高野 知佐

音声を認識するコンピュータ〜でも、新しい言葉は苦手〜



- 統計的な手法で音声認識するコンピュータ
- 音声はコンピュータでどう表現されるか
- 新しい単語をいかに収集するかが今後の課題

情報科学部 知能工学科 教授 竹澤 寿幸

Webの自動翻訳はどんな仕組みなんだろう



- コンピュータは意味を理解せずに翻訳している
- 大量の対訳情報を覚えさせ、統計的な手法で翻訳
- 構文分析を行って自動翻訳する方法もある

情報科学部 知能工学科 教授 竹澤 寿幸

### 芸術学部

基本技術を突き詰めることが力になる



- 軽視されがちなお絵の技術
- 対象を正確にとらえることだけが目的ではない
- デッサンなど基本技術を突き詰めることが力になる

芸術学部 美術学科 准教授 諏訪 敦

大学で絵画を学ぶ意味



- そもそも大学で絵画を学ぶ意味なんかあるのか
- 絵画はもういらないの?
- 絵画を考え続けよう

芸術学部 美術学科 准教授 諏訪 敦

デザインとは何? デザイナーとはどんな職業?



- ものづくりとともに生まれたデザインという概念
- デザイナーの仕事の本質とは?
- 優れたデザイナーの条件とは?

芸術学部 デザイン工芸学科 講師 中村 圭

教員からのメッセージ

デザイン工芸学科の視覚造形では、ビジュアル・コミュニケーション・デザインの研究を行っています。例えば、ポスターやパンフレットなどの印刷物などにおけるグラフィック・デザインもその1つです。デザイナーは、クライアント(依頼主)との対話を通じて、色や文字、写真、それらのレイアウトを決めていきます。その際、自由にアイデアを膨らませると同時に、その効果を吟味し、「伝わるデザイン」を創り出さなくてはなりません。作者の思いだけでは、十分には伝わりません。ですから視覚造形の実習では、制作と併せて、皆で調べたり、考えたり、発表したりすることをとても重要視しています。



「3Dプリンタ」をアート作品に利用する



- 思いどおりの形が簡単に作れる3Dプリンタ
- アートへの利用は、試行錯誤の段階
- 美術館の作品が自宅で再現可能に

芸術学部 美術学科 准教授 ウォーゼン、チャールズ

現代アートは技術よりもアイデア、そして感性



- プラスチックを素材としたアートがあってもいい
- 現代アートで大切なのは、技術よりもアイデアと質
- 評価の基準は作家や鑑賞者の内面にある

芸術学部 美術学科 准教授 ウォーゼン、チャールズ

イスは「環境を作り出す装置」でもある!



- イスのデザインを考えてみよう
- イスは「環境=社会」を作り出す
- イスはプロダクトと建築の中間的存在になる

芸術学部 デザイン工芸学科 教授 吉田 幸弘

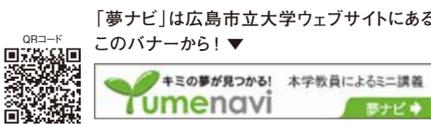
他にも、こんな研究があります!!

- ・アフリカと日本の文化に共通するものとは?
- ・プロ野球選手は、どうして160キロの剛速球を打てるのか?
- ・製品づくりの常識となった「人間工学」の考え方は?
- ・画像処理技術とコンピュータ技術が変える「映像世界」
- ・デジタル化がデザインに及ぼした影響とは?
- ・デザイナーは、コンピュータで「新しい脳」を手に入れた

夢ナビとは…

「夢ナビ」は、株式会社フロムページが管理運営しているインターネット上のサイトです。「関心ワード」に対応した学問分野の「夢ナビ講義」(ミニ講義)を検索することができます。また、大学案内の資料請求ができるなど、さまざまな機能があります。

<http://yumenavi.info>



## 新入生の皆さんに贈る応援メッセージ



### 実行してほしい3つのこと

学長 青木 信之

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

さて、皆さんの心の中は、これから始まる大学生活への期待、そして新しい環境への不安など、さまざまな気持ちが交錯していることと思います。これからの大学生活を始めるにあたり、皆さんに心に留め、実行していただきたいことを3つ伝えたいと思います。

まず一つ目は「粘り強く考える」ことです。学問的なこと、日常のこと、皆さんは日々いろいろな問題に直面することと思います。自分が重要だと思うことや、重要なと直感的に思うことについて、しっかり立ち止まって考えてみてください。頭のなかで思うだけではなく、例えば紙とペンを持って突き詰める。どこか途中で「まあ、いいか」と思考をやめることなく、とことん突き詰めてみる。十分な時間をとって、これぞと思った問題については抜き返く習慣をつけてください。

実行してほしい二つ目は「人の役に立ってみる」ことです。在学习中にボランティア活動などに参加してみることを強く勧めます。社会や地域、また人のために働くことは、自分のために何かを達成することとは異なった喜びを教えてください。そして、同時に自分の弱さや無力さも教えてくれます。つまり、その経験は自分という人間を別の角度からみることに役立ち、生き方に異なった視点を与えてくれるきっかけになります。こういった経験は、社会における大きな使命や自分の責任というものを考えていく素地になっていきます。

三つ目は「時間を大切にすること」です。一生の中で、この大学時代ほど自分自身の時間を持つ機会はありません。皆さんが現在持っているのも、もっとも貴重なものの一つは、自分のために使えるこのまとまった時間です。この時間を利用して、ぜひ自分の強みを作り上げてください。どんなことでも技能や技術を習得するには時間がかかります。例えば、外国語をある程度使えるようになるには、相当な時間をつき込む必要があります。力を蓄えるためには、そして社会にでて力を発揮していくためには、自分を鋼のように鍛えあげることが必要です。焦る必要はありません。しかし、自分たちが持っているのもっとも貴重なものの一つは時間であることの認識を持って日々を過ごしてほしいと思います。

自分という人間の基礎を形作るために、これら三つのこと、「粘り強く考える」「人の役に立ってみる」「時間を大切にすること」を心に留めて学生生活を過ごしてほしいと願います。4年後の自分をイメージしながら、自分の基礎を形作る「自分づくりのプロジェクト」を、ぜひ今日からスタートさせてください。

広島市立大学で送る皆さんの学生生活が、実り多きものとなることを願っています。



### 大学生活を充実したものにしましょう

国際学部長 二村 英夫

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。若い皆さんは胸はずませて大学生活をスタートさせることでしょう。

まず、大学生活の楽しさを持ちましょう。英語や第2外国語の語学力を磨く、スポーツを楽しんで体を鍛える、文化・ボランティア活動や専門ゼミの活動などで人文・社会科学の見識を高めるなどの目的を持って行動し、人間的に大きく成長してってください。また、ゼミ、クラブ・サークル活動、ボランティア活動、短期・長期の海外留学や、企業等のインターンシップ、HIROSHIMA and PEACE等の特別プログラムに参加しましょう。

何か相談したいことなどありましたら、気軽に私の研究室を訪ねてみてください。



### 努力して夢をつかむ

情報科学部長 矢野 卓雄

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。多くの諸君が4年、6年後、世界へ飛び立ちます。

夢をつかむために、大学・大学院時代にすべきことに全力で挑んでください。努力すればきっと夢は叶えられます。また、心身の健康を維持する運動の学識と方法を習得してください。適切な栄養バランス、適度な運動、質の高い睡眠、自分に合ったストレス解消に留意し、いつも最適な状態で勉学に励んで欲しいと思います。さらに、たくさんの友達をつくり、切磋琢磨して楽しい学生生活を過ごしてください。最後に、自分を支えてくださった方々に「お陰様」の感謝の気持ちを忘れないでください。

諸先輩方とともに教職員一同、応援します。共に頑張りましょう。



### 将来に繋がる創作と研究を

芸術学部長 前川 義春

皆さんのご入学を、心よりお喜び申し上げます。

芸術学部は日本でも有数の充実した施設と環境を兼ね備えています。そうした中、皆さんは芸術の様々な分野で、専門的な知識や技術を学んでいくことになります。

まずは日々の授業での制作や講義を精一杯やり抜くこと。そして、学生時代には深さだけではなく、同時に幅広さも身に付けてほしいと思っています。将来、他分野、他国の人たちと仕事をすることもあり、そのことがより深い創作に繋がっていきます。

限りない可能性を秘めた皆さんが、創作上の深い思考の中で、まだ誰も見たことのない新たな世界を私たちに見せてくれることを期待しています。将来に繋がるバランスの良い創作と研究を心掛けてください。

## 活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外の数多くの分野で活躍する「市大人」。その中から、顕著な活動を行っている人を紹介します。

### アラブと日本をつなぐ懸け橋となる人材に

国際学部国際学科4年 西本 淳一郎さん  
(※学年は取材当時)

西本さんは、平成25年1月にアラバイスラム学院の主催で開催された「第10回アラビア語オリンピック」のスピーチ部門で第1位を受賞しました。そこで、西本さんにアラビア語を学び始めたきっかけなどを伺いました。

→アラビア語を学び始めたきっかけを教えてください。

もともと中東の政治に興味がありました。また、「9・11事件」が起こった時に、アラブの人が書いた情報も得たという情報も得たことを受けてきました。市大の国際学部が志望したのも、アラブ研究を専門とする宇野教授の存在が大きかったです。

→アラビア語を学んでみていかがでしたか？

アラビア語で書かれた記事を読むと、日本語や英語で書かれた記事にはない視点や情報を得ることができました。また、アラブの代表的なメディアでさえ扱っていない情報も知ることができました。

→アラブ圏で勉強するために、オマーンに留学したそうですね。

それまでは、日本人の先生方から学んでいたのですが、アラブ圏出身の先生から学んでみたいという思いがありました。また、「外国人」に対してアラビア語をどのように教えているのかという点にも興味がありました。それで現地の語学学校に通ったのですが、外務省に勤務する人など、モチベーションの高い仲間たちと一緒に学ぶことができ、非常に良い経験になりました。



オマーンの語学学校講師(左)と西本さん(右)

→アラビア語オリンピックのスピーチ大会ではどのようなことを話したのですか？

昨年が「言語教育の大切さ」について話しました。アラブと日本がより深い友好関係に到達するためには、メディアや観光を通じてお互いのことを知るだけでなく、お互いの言語学習者



左から宇野教授、西本さん、シリア人留学生のハルドゥーンさん

を増やすこと、また、優秀な言語教師を相互に派遣することが重要な土台となる、という内容でした。今年には「アラブ世界への期待」というテーマで、オマーンに留学した時に、手厚いおもてなしを受けたこと、ますますアラブ社会とアラブ文化に親しみを覚え、「日本とアラブ世界の懸け橋になりたい」という想いを強めたことについて話をしました。原稿の内容やプレゼンテーションについては、シリア人留学生のハルドゥーンさんにアドバイスをしてもらいました。

→今後の展望は

「外国人が話す日本語の評価」について研究を深めていきたいと考えています。また、アラブ圏で日本語教育に携わりながら、「アラブ-日本」親善大使となって、アラブと日本をつなぐ人材になりたいと思います。

→最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

市大の国際学部では、専門だけでなく、さまざまな勉強をすることができます。そのことが、今の自分につながっています。言語が好きということに気が付き、日本語教育に興味を持ったのも、市大に入学したからだと思っています。そして、知識だけではなく、自分で動く力が必要です。受け身ではなく、自分から学ぶということがあって、知識が役に立ちます。



おいて、定住外国人の支援に携わり、リーダーとして活躍。

## 平成25年度学生表彰

本学では、学内外で顕著な活動をした学生たちの表彰制度を設けています。平成25年度は、次の学生が「学長奨励賞」を受賞しました。

**学長奨励賞**

受賞条件

- 学術研究活動により、学外において特に高く評価されるなど、顕著な業績を挙げたと認められるもの
- 文化・芸術・スポーツ分野(全国レベルの大会に限る。)又は人命救助等の社会活動により、学外において高く評価されるなど、顕著な功績・成績を挙げたと認められるもの
- 上記と同等以上の表彰に値する行為があったと認められるもの

**学長奨励賞**

国際学部国際学科4年 西本 淳一郎  
「第10回アラビア語オリンピック」(スピーチ部門)で「第1位」を受賞。

※学年は受賞当時

## 学生レポート

この記事は、「キャンパスリポーター」または「学生広報サポーター」に登録している市大生自らが取材をして作成しています。

## 広報スキルアップセミナー

平成26年2月18日(火)、広島市立大学で「広報スキルアップセミナー」が開催された。広報に関心のある学生および教職員約30名が参加し、講師として迎えた中国新聞社の川井直哉記者による「現場で働くプロならではの話し」を真剣に聞き入っている様子が見られた。また、セミナー中は、参加者からの積極的な発言があり、とても活気にあふれたものとなった。

講師の川井さんは、配布資料を用いながら、取材をする際の心得、記事を書くときのコツ、そして写真の構図などについて講義を行った。説明の際には、一方的に話を進めるのではなく、「もしあなたが取材される側で、相手が変な服装で来たらどう思いますか?」と質問を投げかけたり、新聞記事の見出しを考え発表する演習を行ったりするなど、セミナー参加者の発言を促すように工夫していた。

また、セミナーの終盤では、講義の内容を実践するために、模擬インタビューを行った。インタビューは、現在芸術学部デザイン工芸学科の20期生を中心として活動しているプロジェクト「ニジュキ」代表者の清岡舞さんが概要の説明をした後、参加者が質問するという形式で行われた。記者会見のような緊張感漂う雰囲気の中、参加者からはセミナーの内容を生かした質問が積極的に出されるなど、参加者にとって実り多い研修会となった。

(取材: 国際学部国際学科2年 高田 陽一郎)



広報スキルアップセミナーの様子

## 第17回広島市立大学 芸術学部 卒業・修了作品展

平成26年3月5日(水)から9日(日)まで、広島市現代美術館および本学内において、平成25年度の卒業制作と修了制作の作品展が開催されました。日本画、油絵、彫刻、デザイン、工芸の作品が展示され、多数の来場者がありました。なお、卒業制作のうち優秀作品が5点、修了制作のうち優秀作品が5点選出されました。また、5点の作品が買上作品(芸術資料館収蔵)になりました。

### 卒業制作優秀作品



日本画「夜明けを待つ」 叶丸 恵理



彫刻「タイムライン」 粕谷 優



油絵「継」 平良 円



視覚造形「All behind the scenes」 篠原 唯紀



視覚造形「飾層72候」 原 望美



日本画「重い壁」 森下 恭介



油絵「アロマエッセンス 橋」 手嶋 勇貴



漆造形「つづい II III IV」 小川 恵



彫刻「Homage to Noguchi's Cenotaph」 久保 寛子



現代表現「継」 増田 純

彫刻「君の言葉を訳せない」 簡井 藍

### 買上作品

●日本画「夜明けを待つ」叶丸 恵理(卒業制作)

●油絵「継」平良 円(卒業制作)

●彫刻「君の言葉を訳せない」簡井 藍(卒業制作)

●視覚造形「All behind the scenes」篠原 唯紀(卒業制作)

●視覚造形「飾層72候」原 望美(卒業制作)

### おめでとうございます

氏名(敬称略)	学 位
秀 如	博士(学術)
永井 義人	博士(国際学)
深澤 祐樹	博士(情報工学)
若葉 陽一	博士(情報工学)
中村 有丞	博士(芸術)
FORTAGNE, Claudia	博士(芸術)
若鍋 翠	博士(芸術)

■本学大学院における博士学位取得者(H25年度 春季修了)

■情報科学研究科の学生らが「情報処理学会MBL研究発表会」で受賞  
2013年11月、情報科学研究科(博士前期課程)情報工学専攻2年の林和貴さん、吉田彰彦教授、西正博准教授、新浩一講師、ほか4名が「奨励発表賞」を受賞。

■情報科学研究科の学生が「学生ケータイあわ〜で」受賞  
2013年11月、情報科学研究科(博士前期課程)システム工学専攻2年の辻和也さんが「佳作賞」を受賞。

■情報科学研究科の学生が「IWICIA 2013」で受賞  
2013年11月、情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻2年の緒貫陽介さんが「IEEE SMC Hiroshima Chapter Best Student Presentation Award」を受賞。

■情報科学部学生らが「2013 IEEE SMC Hiroshima Chapter 若手研究会」で受賞  
2013年11月、情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻2年の田村真吾さんと情報科学部知能工学科3年の酒井達弘さんが「若手奨励賞」を受賞。

■情報科学部の学生らが「IEEE広島支部学生シンポジウム(HISS)」で各種受賞  
2013年11月、情報科学部の岩瀬大佑さん、亀山弘貴さん、高木美咲穂さん、村上哲哉さん、村越広大さん、共著者である情報科学研究科の石光俊介教授、岩城敏教授、角田良明教授、谷口和弘講師、河野英太郎助教が「優秀研究賞」、サウンドデザイン研究グループが「最優秀研究発表賞」、情報科学部の高橋弘さんが「最優秀プレゼンテーション賞」、木田勝也さん、宿南篤人さんが「優秀プレゼンテーション賞」を受賞。

■国際学部の学生らが「あさみなみまちづくりアイデアコンテスト」で受賞  
2013年11月、本学の学生チーム「広島市立大学HCU6(代表:国際学部3年・横山奈生子さん他5名)」が「観客の心を掴みだて賞」を受賞。

■芸術学研究科の学生が「未来の印刷大賞」で受賞  
2014年2月、芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻1年の高橋はるかさんが「最優秀賞」を受賞。

※学年・後職は当時

## 市大ニュース

■「国際・平和業務スタディーツアー(市役所へ行く)」を実施  
2013年9月、本学学生の希望者対象に「国際・平和業務スタディーツアー(市役所へ行く)」を実施した。

■本学学生が「トリアスロン大会」で優勝  
2013年10月、韓国の統営(トンヨン)市で開催されたトリアスロン大会に出場した佐々木善寛さん(国際学部3年※当時)が、「18〜24歳の部」で優勝しました。

■安佐南区役所での芸術作品展示を再開  
2013年10月、安佐南区役所の耐震改修工事により一時中断していた芸術作品展示を再開しました。この展示は、安佐南区との連携事業として、2010年9月に開始したもので、芸術学部の学生が制作した石彫、油絵、日本画、金工、漆といったさまざまなジャンルの作品を展示しています。

■在日アメリカ大使館インターンシップに参加した学生が報告会を開催  
2013年11月、在日アメリカ大使館(東京)でのインターンシップに参加した森山彩絵さん(国際学部4年※当時)が、学生や教職員を対象にした報告会を開催しました。

■卒業式・学位記授与式を開催  
2014年3月24日(月)、広島市立大学卒業式・学位記授与式が挙行され、晴れて卒業を迎えた卒業生407名および博士前期・後期課程修了生138名に学位記が授与されました。

■広島市立大学開学20周年記念イベントを開催  
2014年度、本学は開学20周年を迎えるに当たり、各種記念事業を実施します。主な事業の開催日等は次のとおりです。

【開学20周年記念式典・記念講演・祝賀会】  
開催日:平成26年6月14日(土) 開学記念日  
会 場:リッパリオールホテル広島  
【開学20周年記念全学合同シンポジウム】  
開催日:平成26年11月1日(土)・2日(日) 大学祭と同時開催  
会 場:広島市立大学

【ホームカンパデー】  
開催日:平成26年11月1日(土)・2日(日) 大学祭と同時開催  
会 場:広島市立大学(11月1日(土)18時より、広島市文化交流会館で、懇親会を開催予定)

このほかにも各学部等による事業の実施を予定しています。各事業の詳細は別途ウェブサイト等でお知らせします。

■オープンキャンパス開催日のお知らせ  
2014年度は、6月22日(日)【プレ・オープンキャンパス】、8月3日(日)【オープンキャンパス】、10月13日(月・祝)【ミニ・オープンキャンパス】に開催します。

### この本 ～教員の著書紹介～

国際学部 塚田健一 教授  
「文化人類学の冒険―一人間・社会・音楽―」  
2014年2月、春秋社  
「アフリカ音楽学の挑戦―伝統と変容の音楽民族誌―」  
2014年2月、世界思想社

情報科学部 高橋隆一 准教授  
「電子機器設計に活かすデジタル代数学」  
2013年10月、科学技術出版

平成26年度 学年暦(前期)	
前期(4月1日～9月30日)	
4月1日(火)～6日(日)	春季休業
4月1日(火)～4日(金)	定期健康診断
4月2日(水)	入学式
4月2日(水)～5日(土)	オリエンテーション・ガイダンス
4月7日(月)	前期授業開始
4月7日(月)～18日(金)	前期履修手続期間
6月14日(土)	開学記念日
7月16日(水)～18日(金)	前期補講日
7月23日(水)～8月5日(火)	前期定期試験
8月6日(水)～9月30日(火)	夏季休業
8月15日(金)	全学休業日

役員等選任(変更分)	
役職名	氏名
副理事(学生担当)	赤星 晋作
キャリアセンター長	井上 智生

教員の人事異動		
区分	氏 名	職 名
昇任	山口 光明	国際学部教授(4月1日付け)
	藤坂 尚登	情報科学研究科教授(4月1日付け)
	河野 英太郎	情報科学研究科講師(4月1日付け)
	滝永 洋	芸術学部教授(4月1日付け)
	永見 文人	芸術学部教授(4月1日付け)
	河上 曉弘	広島平和研究所准教授(4月1日付け)
	大場 静枝	広島平和研究科教授(4月1日付け)
新任	カーン、ルーク	国際学部准教授(4月1日付け)
	古澤 嘉朗	国際学部講師(4月1日付け)
	式田 光宏	情報科学研究科教授(4月1日付け)
	増谷 佳季	情報科学研究科教授(4月1日付け)
	岡山 友昭	情報科学研究科講師(4月1日付け)
	中山 仁史	情報科学研究科助教(4月1日付け)
	藤田 敏彰	芸術学部准教授(4月1日付け)
	前田 力	芸術学部准教授(4月1日付け)
	釣谷 幸輝	芸術学部講師(4月1日付け)
	山浦 めぐみ	芸術学部助教(4月1日付け)
転出	湯浅 ひろみ	芸術学部助教(4月1日付け)
	孫 賢顕	広島平和研究所准教授(4月1日付け)
	岩田 一成	国際学部准教授(3月31日付け)
	瀬崎 智美	国際学部准教授(3月31日付け)
	加治屋 健司	芸術学部准教授(3月31日付け)
	王 埴	芸術学部助教(3月31日付け)
	神原 信幸	国際交流推進センター特任教授(センター長)(2月28日付け)
	ルディナ・ナクスチャン	国際学部教授(3月31日付け)
	大場 充	情報科学研究科教授(3月31日付け)
	寺田 和夫	情報科学研究科教授(3月31日付け)
退職	友安 一成	芸術学部教授(3月31日付け)
	堤 研	芸術学部教授(3月31日付け)
	若山 裕昭	芸術学部教授(3月31日付け)

## 「WEST BREEZE」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学 企画・広報委員会  
 ○E-mail:kikaku@office.hiroshima-cu.ac.jp  
 ○Tel:082-830-1666 ○Fax:082-830-1656  
 【WEST BREEZE】のバックナンバーは、大学ウェブサイト「大学紹介」>「大学広報」>「広報誌【WEST BREEZE】」に掲載しています。

広島誌名  
 広島市立大学広報誌の表紙タイトル「W.B.」(「WEST BREEZE」の略称)は、広島市立大学のある西風新都にならんで命名されました。  
 編集人/若林 真一  
 発行日/平成26年(2014年)4月1日